

ギャラリーキット · 2025 / 2026

Azami Ballart Kobayashi

陶芸彫刻家、パリ

三つのシリーズ · 三世代 · 一つの系譜

OI

紹介

日本とカタルーニ ヤの交差点に立つ 実践

アザミ・バジヤール小林は、消えゆくものを留めるかのように素材を彫り出す。繰り返される動きの効果、時の刻印、自然の記憶を。

清水焼の職人の家系に生まれ、紐作り技法で炆器と磁器の作品を手成形する。その仕事は、無人の彫刻と容器となるオブジェの間を行き来し、開口部、稜線、影によって生命を吹き込まれる。各シリーズは造形的な問いを探求する。意志としての石 (Ishi)、まなざしとしての立柱 (Koboku)、住まう静けさとしての灯籠 (Toro)。

工房はすべての釉薬を内製し、独立した節度ある制作を行う。焼成は高温 (1245°C)。粘土の端材は回収され、窯は最適化されている。生態学的整合性は実践の一部であり、付加要素ではない。



02

系譜と研鑽

三世代の陶芸家

清水焼

清水焼の継承

小林正明（第二次世界大戦後に京都で生け花の花器工房を創設）の孫であり、陶芸家を母に持つアザミは、形式化される前の身体的な所作の教えを受けた。

2013

美術学位

ビルバオ大学美術学部。

2015-2018

小林工房での研鑽

京都地方の家族工房で三年間。世代から世代へと受け継がれてきた技法を学ぶ。

2018年以降

パリでの独立工房

三つのシリーズが進行中：Ishi、Koboku、Toro。炆器と磁器による制作、釉薬の自家調合、高温焼成。

03

制作観

消えゆくものを留める

形は、忍耐によってゆっくりと現れる。

石のように堅い意志は、繰り返される所作によって形作られる。やがて動きが現れ、質感が現れる。一部の作品の内側では、青く質感のある釉薬が氷を想起させる。近づいてはじめて気づく秘密のように。

Koboku と *Toro* の開口部は、単なる穴ではない。視点なのだ。細長い窓は近寄ることを促し、丸い穴は今にも語り出しそうな口を思わせる。各作品は、向ける方向を選ばれることを、見るべき何かを与えられることを待っている。

この仕事は、調和と純粹さの追求のなかにある。家族の継承に根ざし、カタルーニャ・日本・フランスの往還によって育まれている。



作品

進行中の三シリーズ

04



Ishi 石
石、意志のかたち。

閉じられた、または貝のように開かれた作品。内側に水のような青い質感の釉薬。



Koboku 小木
小さな木々。

ミニマルな輪郭の立柱。丸や矩形の開口部が、それらに眼差しを与える。



Toro 灯籠
灯籠。

二重に開かれた縦長の作品：頂きの矩形の窓、胴を流れる縦の筋。透明釉が内に湛えられる。

05

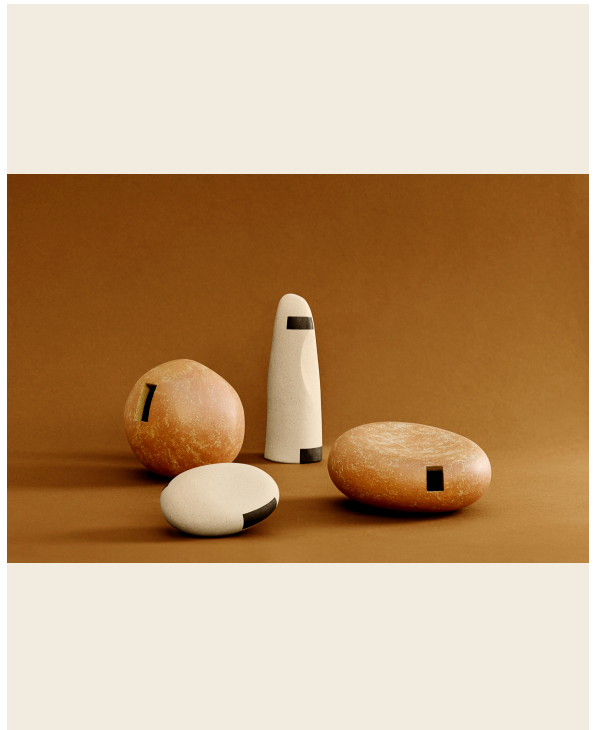
工房と教授

パリから10分、 レ・リラの工房

工房は91 rue de Noisy-le-Sec、93260 Les Lilas に位置する。三シリーズの制作、釉薬の調合、教授を担う。

四年来、アザミは少人数の成人グループ（週10名）に、成形技法、高温焼成、釉薬の調合を伝えている。
教授可能時間：夜間と土曜日。

工房訪問は予約制で受け付けている。作品群の直接の紹介や、プロジェクトの相談のために。





選定

京都・清水焼の陶芸家の家系の三代目として、アザミ・バジヤール小林は幼少より陶芸を実践している。13年にわたる職業的研鑽を経て、2026年より初の公的発表の系列を開始する。セラミック・アート・ロンドンがその開幕を飾る。

2026年5月

Ceramic Art London 2026

オリンピア・ウェスト、ロンドン・2026年5月7～10日

現代作家陶芸の欧州を代表する見本市。1958年設立の英国クラフト・ポッターズ・アソシエーション（雑誌『*Ceramic Review*』の刊行団体）が主催。書類選考による出展。

三シリーズ *Ishi*、*Koboku*、*Toro* の初の合同公開発表。2026年カタログおよび見本市公式サイトに正式掲載。

見本市の4日間を通じて、愛好家、ロンドンのギャラリスト、インテリアデザイナーとの対話。

→ [公式ページ・ceramicartlondon.com](https://ceramicartlondon.com)

条件と物流



代理	現時点で専属代理なし。あらゆる連携提案を歓迎：ギャラリー、フェア、キュレーション・プラットフォーム。
コラボレーション形態	個展・グループ展・アートフェア・委託販売・一括買取・ギャラリー経由のプライベート・コミッション・レジデンス・キュレーション・プロジェクトの共同制作・共同またはブリーフィングに基づくプロジェクト。
金銭的条件	プロジェクトの性質と期間に応じて協議。
物流	オーダーメイド木箱梱包、輸送保険込み。48時間以内に見積。展示期間中は、釘付けから釘外しまでの保険はギャラリー負担。
期間	3～12週間、書面合意により調整可能。
参照作品	コレクション中の4作品はリファレンスとして保管され、展示、シーノグラフィー、キュレーション・プロジェクトのために貸出可能。
コミッション	既存シリーズの連続性のなかでの寸法変更。制作期間：作品により3～6ヶ月。
工房訪問	予約制、レ・リラ（93）にて。
画像権利	展示コミュニケーション用に高解像度画像を提供。撮影クレジット：アザミ・バジヤール・小林・マリー＝アメリ・ジュルネル。

08

連絡先

Azami Ballart Kobayashi

91 rue de Noisy-le-Sec, 93260 Les Lilas, フランス

+33 6 14 22 84 64

studio@azamiballartkobayashi.com

azamiballartkobayashi.com · @azamiballartkobayashi

FRANÇAIS · ENGLISH · ESPAÑOL · 日本語

カタログ全集 2025/2026 : www.azamiballartkobayashi.com/catalogue